

X
EX ECUTE
EX PLORE
E FFECT
EX CELLENT
EX PERT

2016 - APRIL -

4月号

EXE TIMES

LET IT GLOW!

EXE のホームページアドレス

<http://www.exe-ac.jp>

検索

新年度のご挨拶

平素からお子様のご送迎ほか、物心両面に於いてご協力を賜り、さらに **EXE** の理念に、ご理解・ご賛同・ご支援を頂戴し感謝申し上げます。

周りを見渡せば、偕楽園の好文木が盛りを越えようとしていると、全国から桜の開花宣言があちらこちらから聞こえてきます。当地も間もなく連翹、桜、雪柳等々、當に百花繚乱、多くの人財の出発を祝うが如くの時期になりました。

毎年の事ながら、今年もお預かりしたお子様方の成長の一助になりますように、私共も気持ちを持ちを新たにしております。

『不易流行』松尾芭蕉が「奥の細道」の旅で体得した俳諧に対するの概念ですが、文化にも、学ぶことにも、人間の成長にも通じる概念だと思えます。『不変の真理を知らなければ基礎が確立できず、変化を知らなければ新たな進展はない。しかし両者の根本は同じである』、という内容です。翻って私共、塾業界を鑑みても、ここ 30 年で、一斉指導から個別指導へ、そして映像授業と「流行」は移ろいでいます。しかも、昨今は「不易」より「流行」が重視される傾向が顕著ではないかと感じています。企業もかつてのように社員を育てる余裕がなく、即戦力になる人材、すぐに役立つ知識を期待しています。しかし、即戦力は基礎がしっかりしていないので寿命が短く、すぐに役立つ知識は、今日、明日は通用しても明後日には陳腐化します。目先の価値観に捉われ、短絡的に実用的なものを求めがちな現代だからこそ、今一度「不易」の意味を考えてみるべきでは、と思えます。**EXE** が申し上げている通り、「学ぶ事」「学力」についても然りではないでしょうか。

EXE の塾是は 2 つ、

一、夢を選び、実現する力を育てよう

一、時代を創造し、地球に役立つ人材を育てよう

です。この「変えてはいけない事」を実行するために、不器用なまでに愚直に精進して参りますので、本年も変わらずのご指導・ご支援、宜しく申し上げます。

三月吉日

進学塾 **EXE** 塾長 高杉 俊介

学年	新小5・6生	学年	新中1生	学年	新中2生	学年	新中3生
集合時間	★ 15 : 00 ★	集合時間	★ 13 : 00 ★	集合時間	★ 17 : 20 ★	集合時間	★ 17 : 20 ★
国語(40分)	15 : 10~15 : 50	志望校記入	-	志望校記入	17 : 20~	志望校記入	17 : 20~
数学(40分)	16 : 00~16 : 40	国語(50分)	13 : 10~14 : 00	英語(50分)	17 : 30~18 : 20	英語(50分)	17 : 30~18 : 20
		数学(50分)	14 : 10~15 : 00	国語(50分)	18 : 25~19 : 15	国語(50分)	18 : 25~19 : 15
		社会(40分)	15 : 10~15 : 50	数学(50分)	19 : 20~20 : 10	数学(50分)	19 : 20~20 : 10
		理科(40分)	16 : 00~16 : 40	社会(40分)	20 : 15~20 : 55	社会(40分)	20 : 15~20 : 55
				理科(40分)	21 : 00~21 : 40	理科(40分)	21 : 00~21 : 40

必ず自分の学力を知るべし!

前面が張られた学校の定期テスト等では計れない総合的な学力を診断するのが模擬試験です。受験で成功した生徒さんは模擬試験を何回も受け、自分の学力を常に把握して学習に取り組んでいます。志望校を決める際にも正確な情報をより多く持っていることが重要となります。模擬試験はいろいろな学校の生徒さんが受験しています。出題のレベルも入試の内容に沿ったものから、より受験に即したテストと異なるわけです。

EXE ではなるべく多くの生徒さんに受験を有利に導いてほしいと願い、模擬試験の受験をお勧めしております。

※ **EXE** 新卒生制度の判定に使用します。 ※ 塾に通っていない方も、テスト受験可能です。

学力判断模試 4/2 ± 全学年

新中2・3生 5教科 新中1生 4教科 新小5・6生 2教科

- * 水戸一高 6名 (9名中)
- * 水戸二高 7名 (10名中)
- * 緑岡高校 10名 (11名中)
- * 桜ノ牧高 11名 (14名中)
- * 水戸三高 6名 (6名中)
- * 太田一高 4名 (4名中)
- * 勝田高校 4名 (4名中)
- * 那珂高校 7名 (7名中)
- * 佐和高校 6名 (6名中)
- * 東海高校 1名 (1名中)
- * 佐竹高校 1名 (1名中)
- * 多賀高校 1名 (1名中)
- * 中央高校 1名 (1名中)



- * 岩瀬高校 1名 (1名中)
- * 水戸商業 11名 (14名中)
- * 水戸工業 3名 (5名中)
- * 水戸農業 2名 (2名中)
- * 勝田工業 4名 (4名中)
- その他
- * 茨城高専 4名 (7名中)

※ 高校名 合格者数 (受験者数)

勉強はちゃんとやればラクになる

* 今年の入試の総評

<英語> 問題の難易度は例年通りでしたが、少し複雑な情報を処理するように要求される場所もあり、50分という短い時間の中で正確に解き進めていくのは大変だったようです。得意な人とそうでない人で得点差が開きやすい問題でした。

<国語> 昨年があまりに簡単だったため、選択肢が少し選びにくい問題がありました。論述問題のみならず作文がありますので、この部分の成否で得点の差が大きく開くと考えられます。

<数学> ここ数年、易しい出題が続きましたが、数年ぶりに難化して得点が伸びなかったようです。文章題や図形の問題は、生徒さんにとって永遠のテーマのようです。特に中途半端に数学ができると思込んでいる生徒さんにとっては、厳しい結果でした。

<理科> 全体的には平易な問題でしたが、一部慣れていない問題が出題されて戸惑った生徒さんもいたようです。生半可な知識で終わっている生徒さんにとっては、難しかったようです。

<社会> 全体的に平易な問題で、得点し易かったようです。しかしながら、問題が易しく、平均点が上がる教科での失敗は大きな痛手となる可能性があります。

<総評> 全体的に昨年度よりは得点しにくく、平均点が下がる教科の方が多いですので、5教科総合の平均点も下がると予想されます。卒業生の皆さんから教えていただいた開示された得点を見ても、合格のボーダー点は下がっている高校が多いようです。ただし、平均点が高い時は、中途半端な勉強をしても得点が伸びてしまう生徒さんがいるため、結果は大荒れとなりますが、今年のように平均点が下がる場合は、しっかりと勉強をしている生徒さんにとって有利だと言えます。どんな出題にも耐えうる勉強をしているかがカギとなります。

* 高校入試の合否を決めるのは?

一般的には「内申点」と「学力点」両方とも良くないと、高校には受からないイメージがありますが、何といても大事なのは「学力点」です。いくら内申点が良くても、当日の学力点が振るわなければ合格できないこともあります。入試の出題は、レベル・範囲ともに学校の定期テストなどと簡単に比較できないことは念頭においておくべきです。

* 「学力の基準」は何に?

「学力・成績」という言葉を口にするときに、保護者様の多くは学校の成績(定期テスト・内申点)を思い浮かべられる方がほとんどと思いますが、範囲が狭い・学校間の格差が大きいなど、残念ながら入試を前提した場合、明確な基準とはなりえません。対して模擬試験は受験者が全県から集まり、範囲も広いため志望校判定も確実性の高い数値が算出されます。明確な学力・成績の基準は模擬試験中心に考えていくことが望ましいと考えています。学校のテストはそこそことれているから安心…、という方が一番危険でしょう。

* 早くから準備すること

一年間で伸ばせる学力は、偏差値にして最大 10 ポイントが限度だと言えます。ちゃんとした学力はそう簡単には伸びないもので、「そのうちなんとか…」と言いつつ先延ばしにすると結局膨大な量の学習が残され手を付けられなくなるか、また、やってみたものの時間切れで終わらなくなってしまいます。早くから準備することは、受験に有利だけでなく、受験をラクにすることもできます。

「新年度・新学期」

4/6(水) よりSTART!

4月6日(水)より「新年度・新学期」の態勢に移行します。それに伴い通塾曜日・時間帯は右記の通りになります。

一部校舎により、曜日・時間帯等が異なりますので、各校舎からの案内をご覧ください。

各学年の通塾曜日・時間帯

対象学年	受講教科	通塾曜日	授業時間
新小5・6生	算・国	月/木or火/金	17:00～18:50
	理・社	土	16:00～18:00
新中1生	英・数・国	火/木	19:30～21:30
	理・社	土	19:00～21:45
新中2生	英・数・国	火/木	20:00～22:00
	理・社	土	19:00～21:45
新中3生	英・数・国・社・理	月/水/金	19:30～22:05

保護者面談について

下記の日程で面談を実施する予定です。4月2日に実施します「学力判定模試」の結果データを基に、現在の学力状況と今後の学習の方向性について、お話をさせていただきます。是非ともご参加いただきたいと思います。

期日が近づきましたら申込用紙を配布致しますので、ご希望の日時をご記入の上お持ちいただきたいと思います。

面談期間 4/18 (月) ～ 5/13 (金)

対象：中学生の保護者様

なお、お申し込み順に日程を調整しておりますので、ご希望に副えない場合があります。ご了承ください。

※ 面談は二者・三者をご選択ください。

※ 配布された日程でご都合の悪い場合は直接ご相談ください。

家庭学習は「復習」を中心に

<間違い直し・まとめノート>

講習初日にも学習のガイダンスをおこないましたが、日々の学習で中心となるのは「間違い直し・まとめノート」です。毎年、卒業生の合格体験記の中でも、一番役に立った勉強方法として「やっておいて良かったあ!」「もっとやっておくべきだった…」など、たくさんの声が上がっています。

もちろん、勉強法はこれだけではありませんが、「覚えるべきことは覚える、理解すべきことは理解する」を最短にしてくれるのが「間違い直し・まとめノート」です。

- 英語：単語練習、音読
- 数学：計算練習
- 国語：天声人語(意味調べ)

※ 他にも教科によって、やるべきことは多少増えてきます。「間違い直し・まとめノート」はノートを作成することが目的ではありません。できるようにすることが主眼ですので、講師が一人ひとりのノートを細かくチェックします。

April 4月以降 予定&休講日

- 4/2 日(土) 学力判断模試(月例テスト)
- 3～5 日 休講日
- 6 日(水) 1学期講座 start!
- 10 日(日) 休講日
- 17 日(日) 休講日
- 24 日(日) 休講日
- 29 日(金) 休講日/昭和の日
- 30 日(土) 休講日
- 5/1 日(日) 休講日
- 3 日(火) 休講日/憲法記念日
- 4 日(水) 休講日/みどりの日
- 5 日(木) 休講日こどもの日

編集後記

単にそれまでそうしてきたからという理由で、それまでのやり方だけにしがみ付く人は多いようである。しかし、一度、すべてをゼロベースに戻し、冷静に何が正しく、何が理に適っているのかを判断して、それを愚直にやり抜くには勇気がある。納得した上で覚悟して進む道は、傍から見ると辛く厳しいように見えるかもしれないが、実は手堅くラクなのである。しがみ付く者は袋小路に迷うが、壊しながら進むものは、それまでの経験が全て援軍となって後押ししてくれるものである。仕事も勉強もそうあらねばならないと、自分を戒める春である。

編集 臥居猫